



中国地道药材 鉴别使用手册

编著：张穗坚

BOOK

广东人民出版社

藥



ZHONGGUO DIDAUYAOCAI JIANBIESHYONGSHOUCE

几千年来，中国地道药材的鉴别使用，经过历代医家不断的应用总结，发展很快。特别是近几年的研究发展，取得了显著的成果。随着中国地道药材在防治疾病中的作用和临床医疗的需要，我们参考了大量有关中国地道药材的书籍和资料，筛选了临床上实用的中国地道药材编写成册，供读者参考。

上

藥

中国地道药材 鉴别使用手册

编著：张穗坚

BOOK

广东旅游出版社



图书在版编目(CIP)数据

中国地道药材鉴别使用手册/张穗坚编著. - 广州:广东旅游出版社,2002.12

ISBN 7-80653-376-1

I.中… II.张… III.①中药材—中药鉴定学—手册②中成药—临床应用—手册 IV.R28-62

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 081263 号

广东旅游出版社出版发行
(广州市中山一路 30 号之一 邮编:510600)

广东旅游出版社图书网
(www.travel-publishing.com)

广东旅游网
(www.gdtravel.com)

邮购地址:广州市东华南路 118 号 B201 室 邮编:510100

联系人:王 雯 邹亚洲 联系电话:020-83860700

广东茂名广发印刷有限公司

(茂名市计星路 60 号 邮编:525000)

850×1168 毫米 32 开 34.75 印张 700 千字

2002 年 12 月第 1 版第 1 次印刷

印数:1-5000 册

总定价:52.00 元[软精装(上、下册)]

出版前言

中医药学是一伟大的宝库。中草药学是中医药学的重要组成部分,它内容丰富,有关著作颇多,其中有影响的有《神农本草经》、《新修本草》和《本草纲目》等。几千年来,中草药的鉴别与应用,经过历代医家不断的运用——总结——运用,不但在临床上取得了丰富的经验,而且在理论上也有较大的发展。特别是近几年,中草药的研究发展很快,广泛应用于临床,并取得了显著的成果。随着中草药在防治疾病中的作用和临床医疗的需要,我们参考了大量有关中草药的书籍和资料,筛选了临床上实用的中草药编写成册,供读者参考。

本书共分十八章。每味药按〔来源〕、〔产地〕、〔采收〕、〔成分〕、〔规格性状〕、〔常见伪品与鉴别(或药材鉴别)〕、〔贮藏保管〕、〔性味〕、〔归经〕、〔功效〕、〔处方名〕、〔临床使用〕、〔用量用法〕、〔使用注意〕、〔药理作用〕、〔著名名言〕、〔验方经方〕、〔食疗验方〕等十八方面编写。重点介绍临床使用,其目的是有效地指导临床,提高疗效,增加治愈率。

本书适合于从事中草药生产、购销者和从事中医、中西医结合的医务人员阅读,也可作为家庭保健读物,供对中草药学有兴趣的广大群众阅读。

由于编者水平有限,错处难免,望读者及同行提宝贵意见,我们表示欢迎。

编者

2002年8月

目 录

第一章 补益药

第一节 补气药

人参	(3)	山药	(26)
党参	(9)	黄精	(29)
太子参	(13)	扁豆	(33)
西洋参	(15)	大枣	(34)
黄芪	(17)	甘草	(37)
白术	(22)	饴糖	(43)

第二节 助阳药

鹿茸	(46)	肉苁蓉	(78)
海狗脊	(55)	锁阳	(81)
蛤蚧	(56)	胡桃仁	(83)
紫河车	(59)	补骨脂	(85)
冬虫夏草	(61)	益智仁	(87)
韭菜	(64)	杜仲	(90)
阳起石	(65)	续断	(93)
蛇床子	(66)	狗脊	(96)
淫羊藿	(68)	菟丝子	(98)
巴戟天	(72)	沙苑蒺藜	(100)
仙茅	(75)	海马	(102)

骨碎补	(104)	九香虫	(106)
-----------	-------	-----------	-------

第三节 补血药

熟地	(109)	阿胶	(123)
首乌	(112)	桑椹子	(126)
当归	(116)	龙眼肉	(127)
白芍	(120)	鸡血藤	(129)

第四节 养阴药

沙参	(132)	百合	(149)
天门冬	(134)	枸杞子	(150)
麦门冬	(137)	女贞子	(153)
玄参	(140)	龟板	(155)
石斛	(143)	鳖甲	(157)
玉竹	(146)		

第二章 解表药

第一节 发散风寒药

麻黄	(163)	羌活	(187)
桂枝	(167)	辛夷花	(189)
紫苏	(171)	苍耳子	(192)
生姜	(174)	葱白	(194)
荆芥	(177)	胡荽	(195)
防风	(180)	柃柳	(197)
白芷	(183)		

第二节 发散风热药

薄荷	(199)	木贼	(221)
菊花	(202)	蝉蜕	(223)
桑叶	(205)	牛蒡子	(226)
柴胡	(208)	淡豆豉	(228)
葛根	(213)	浮萍	(230)
升麻	(218)		

第三章 清热药

第一节 清热泻火药

石膏	(235)	鸭跖草	(258)
知母	(239)	寒水石	(260)
栀子	(243)	谷精草	(262)
夏枯草	(247)	密蒙花	(263)
芦根	(251)	决明子	(265)
天花粉	(253)	青箱子	(267)
竹叶	(256)	夜明砂	(269)

第二节 清热燥湿药

黄芩	(271)	苦参	(291)
黄连	(276)	白鲜皮	(294)
黄柏	(283)	秦皮	(296)
胡黄连	(286)	马尾连	(298)
龙胆草	(287)		

第三节 清热解毒药

金银花	(299)	马勃	(338)
连翘	(303)	山豆根	(340)
穿心莲	(307)	土茯苓	(342)
鱼腥草	(311)	白蔹	(344)
蚤休	(315)	漏芦	(345)
大青叶	(317)	半枝莲	(347)
青黛	(320)	白花蛇舌草	(348)
蒲公英	(322)	山慈菇	(349)
紫花地丁	(324)	牛黄	(351)
红藤	(326)	垂盆草	(353)
败酱草	(328)	四季青	(354)
马齿苋	(330)	地锦草	(354)
白头翁	(332)	金荞麦	(356)
鸦胆子	(334)	绿豆	(357)
射干	(336)		

第四节 清热凉血药

水牛角	(359)	紫草	(374)
生地黄	(361)	地骨皮	(377)
牡丹皮	(366)	白薇	(378)
赤芍	(371)	银紫胡	(380)

第四章 泻下药

第一节 攻下药

大黄	(385)	番泻叶	(395)
芒硝	(392)	芦荟	(397)

第二节 润下药

火麻仁	(401)	蜂蜜	(405)
郁李仁	(403)		

第三节 峻下逐水药

甘遂	(409)	牵牛子	(422)
大戟	(412)	千金子	(424)
芫花	(414)	乌柏的根皮	(426)
商陆	(418)	巴豆	(427)

第五章 平肝熄风药

羚羊角	(433)	白蒺藜	(451)
石决明	(436)	稽豆衣	(453)
玳瑁	(439)	蚯蚓	(454)
代赭石	(441)	僵蚕	(458)
紫贝齿	(443)	全蝎	(460)
天麻	(444)	蜈蚣	(463)
钩藤	(448)	罗布麻	(466)

第六章 行气药

橘皮	(471)	香橼	(498)
青皮	(475)	沉香	(500)
木香	(479)	降真香	(503)
香附	(482)	檀香	(504)
乌药	(485)	薤白	(507)
枳实	(489)	柿蒂	(509)
大腹皮	(493)	甘松	(511)
佛手	(495)	荔枝核	(513)

山奈	(515)	玫瑰花	(518)
腊梅花	(516)		

第七章 活血化瘀药

川芎	(523)	自然铜	(568)
丹参	(527)	乳香	(570)
益母草	(532)	没药	(573)
泽兰	(535)	延胡索	(575)
桃仁	(538)	王不留行	(578)
红花	(541)	干漆	(581)
苏木	(544)	三棱	(583)
凌霄花	(547)	莪术	(585)
月季花	(549)	水蛭	(588)
牛膝	(551)	虻虫	(590)
刘寄奴	(555)	廑虫	(592)
姜黄	(557)	毛冬青	(594)
郁金	(560)	落得打	(597)
五灵脂	(563)	急性子	(598)
血竭	(566)	鼠妇	(600)

第八章 止血药

白芨	(605)	三七	(621)
仙鹤草	(608)	血余炭	(625)
紫珠草	(610)	蒲黄	(627)
棕榈皮	(612)	茜草根	(630)
乌贼骨	(614)	花蕊石	(633)
藕节	(616)	大蓟	(634)
移木	(618)	小蓟	(637)
百草霜	(620)	侧柏叶	(639)

旱莲草	(642)	槐角	(649)
羊蹄根	(644)	地榆	(651)
苈麻根	(645)	伏龙肝	(654)
槐花	(646)		

第九章 祛痰药

第一节 温化寒痰药

半夏	(659)	白芥子	(669)
天南星	(664)	皂荚	(672)
白附子	(667)		

第二节 清热化痰药

川贝母	(675)	海蛤壳	(700)
浙贝母	(681)	瓦楞子	(702)
瓜蒌	(684)	海藻	(704)
天竺黄	(688)	昆布	(708)
竹沥	(690)	礞石	(711)
竹茹	(691)	胖大海	(712)
桑白皮	(692)	荸荠	(714)
葶苈子	(695)	猴枣	(716)
浮海石	(698)		

第三节 止咳平喘药

杏仁	(717)	紫苑	(732)
桔梗	(720)	款冬花	(735)
前胡	(723)	百部	(738)
白前	(726)	枇杷叶	(741)
旋覆花	(728)	马兜铃	(744)
苏子	(731)		

第十章 祛风湿药

独活	(749)	伸筋草	(783)
藁本	(752)	五加皮	(785)
威灵仙	(754)	桑寄生	(788)
秦艽	(757)	千年健	(792)
木瓜	(760)	石楠叶	(793)
蚕砂	(762)	鹿蹄草	(794)
苍术	(764)	豨莶草	(796)
徐长卿	(768)	臭梧桐	(797)
海桐皮	(771)	虎杖	(799)
海风藤	(773)	老鹳草	(802)
青风藤	(775)	穿山龙	(804)
络石藤	(777)	白花蛇	(805)
桑枝	(779)	乌梢蛇	(807)
松节	(781)	雷公藤	(810)
寻骨风	(782)	昆明山海棠	(813)

第十一章 芳香化湿药

厚朴	(819)	白豆蔻	(831)
藿香	(823)	草豆蔻	(834)
佩兰	(827)	草果	(836)
砂仁	(828)		

第十二章 利水渗湿药

茯苓	(841)	薏苡仁	(849)
猪苓	(845)	泽泻	(853)

车前子	(857)	地肤子	(890)
滑石	(861)	冬葵子	(893)
木通	(864)	篇蓄	(895)
通草	(867)	瞿麦	(897)
防己	(869)	石苇	(899)
萆薢	(872)	海金沙	(902)
茵陈	(874)	金钱草	(904)
赤小豆	(878)	三白草	(906)
冬瓜子	(880)	积雪草	(908)
淡竹叶	(882)	地耳草	(910)
玉米须	(884)	马鞭草	(912)
半边莲	(886)	虎刺	(915)
灯芯草	(888)	蝼蛄	(916)

第十三章 收涩药

麻黄根	(921)	银杏	(949)
浮小麦	(923)	樗根皮	(950)
糯稻根须	(924)	山萸肉	(952)
赤石脂	(925)	金樱子	(955)
禹余粮	(927)	桑螵蛸	(958)
肉豆蔻	(929)	覆盆子	(960)
诃子	(932)	莲子	(963)
罂粟壳	(934)	莲心	(965)
乌梅	(937)	芡实	(966)
石榴皮	(940)	刺猬皮	(968)
五倍子	(941)	鸡冠花	(969)
五味子	(944)		

第十四章 芳香开窍药

麝香	(975)	安息香	(984)
苏合香	(979)	石菖蒲	(986)
冰片	(981)		

第十五章 安神药

第一节 重镇安神药

朱砂	(993)	龙骨	(1003)
磁石	(995)	牡蛎	(1007)
琥珀	(998)	紫石英	(1010)
珍珠	(1001)	铁落	(1011)

第二节 养心安神药

酸枣仁	(1013)	合欢皮	(1021)
柏子仁	(1016)	夜交藤	(1022)
远志	(1018)		

第十六章 祛暑药

西瓜	(1027)	青蒿	(1029)
清水豆卷	(1028)	香薷	(1031)

第十七章 温里药

附子	(1035)	丁香	(1054)
肉桂	(1039)	小茴香	(1057)
干姜	(1043)	艾叶	(1059)
吴茱萸	(1046)	草豆蔻	(1062)
高良姜	(1049)	荜拨	(1063)
川椒	(1051)	毕澄茄	(1066)

第十八章 消食药

莱菔子	(1071)	山楂	(1079)
麦芽	(1073)	鸡内金	(1081)
谷芽	(1075)	鸡矢藤	(1083)
神曲	(1077)		

第一章 补益药

凡以补益正气，扶助虚弱，强身祛邪为主要功效的药物，皆称为补益药。

本类药适用于气虚、阳虚、血虚、阴虚四种，故补益药又分为补气药、助阳药、补血药、养阴药四类。

使用本类药时，必须根据虚证的不同类型，选用不同的补益药。如气虚证用补气药，血虚证用补血药等。但是人体的气、血、阴、阳是互相依存的，所以虚损不足的情况下，也常互相影响。如阳虚的多兼气虚，而气虚的也常易导致阳虚；阴虚的多兼血虚，而血虚也常易导致阴虚。因此，补气药和助阳药，补血药和养阴药，往往配合为用，更有气血两亏，阴阳俱虚的病症，则补养药的运用，又当根据病情，灵活掌握，采用气血两补或阴阳兼顾。

本类药不适用于实邪的病症，用则加重病情。同时本类药如使用不当，往往有害无益，如阴虚有热而用助阳药，阳虚有寒而用补阴药等。

第一节 补气药

补气药主要用于气虚证。气虚是指机体活动能力的不足，补气药能增强机体活动的能力、特别是脾、肺二脏的功能，所以最适用于脾气虚和肺气虚的病症。

气虚临床表现为：脾气虚则食欲不振，大便泄泻，脘腹虚胀，神倦乏力，甚至浮肿，脱肛；肺气虚则少气懒言，动作喘乏，易出虚汗。

补气药还可用于血虚或津亏的病症。因气能生血，又能生津，所以在补血或生津的方剂中，常配伍补气药同用，可以加强疗效。

人 参 《本经》

〔来源〕为五加科多年生草本植物人参的根。栽培者称园参，野生者称野山参。

〔产地〕主产于辽宁、吉林、黑龙江等省。

〔采收〕园参于栽种后5~6年，在9~10月采挖，洗净晒干，称生晒参；经沸水浸烫后，浸于糖汁中，再晒干称糖参（白参）；除去侧根、细根、蒸熟晒干或烘干称红参；细根称参须。野山参亦可按上述方法加工。去芦切片入药。

〔成分〕含多种皂苷、挥发油、糖类、氨基酸及维生素等。